



小学校プログラミング教育実践報告書

令和2年度 相模原市立小中学校視聴覚教育研究会
プログラミング教育A班

学習活動名	総合的な学習の時間「世の中の役に立つレゴの車をプログラムしよう」
学年	小学校第6学年
目標	レゴに出来ること活用して、世の中の役に立つようなプログラムを組む。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Lego wedo
環境	クロームブック、Lego wedo を4人で1台使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立南大野小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>I 授業を展開する上でのポイント 総合的な学習の時間の授業でねらう資質・能力を育成するため、Lego wedo のプログラミングを通した話し合い活動に取り組むことで、プログラミングの意義や楽しさを感じさせられるように支援する。</p> <p>II 授業のながれ</p> <ol style="list-style-type: none">1 プログラミングの意味やよさを話し合う2 めあての確認 <div data-bbox="443 976 1406 1025" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">「世の中の役に立つレゴの車をプログラムしよう」</div> <ol style="list-style-type: none">3 レゴにできることの確認をする。 車を進ませる・止める・スピードを変える・走る時間を決める・走る向きを変える 音を流す・光らせる・声を流す・傾きを察知する・障害物を察知するなど4 レゴ Wedo2.0 を開き、グループで話し合いプログラムを組む。5 発表し合う。 <div data-bbox="395 1301 911 1570"></div> <div data-bbox="1007 1301 1390 1570"></div> <p>写真 レゴの車に鉛筆を付けて直線を引く車 写真 テレビに投影してプログラムを説明する様子</p> <ol style="list-style-type: none">4 ふりかえりをする。 最も世の中の役に立ちそうな車の発表ができた班を google forms で投票し、振り返りを書く。
成果と課題	キャリア教育の一環として、レゴの車を使ったプログラミングを行った。プログラミングが自分達の将来に繋がっているという認識を持ち、自分事として活動に取り組むことが出来た。また、うまくプログラムが組めず、思い通りにいかない児童達も試行錯誤を繰り返して、どうしたら良くなるのかを深く考えることができた。